

連結散水設備・連結送水管概要表

連結散水設備	設置階													
	放水区域別概要	放水区域の別												
		面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
		天井裏設置の可否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	要・否	
		散水ヘッドの種別	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	開放・閉鎖	
		ヘッドの設置個数	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
		送水口の専用兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	専用・兼用	
	ヘッド	開放型	製造者名								認定番号			
		閉鎖型	製造者名					標示温度	℃	検定番号				
	火災覚知方法（開放型の場合）			1. 自動火災報知設備の感知器 2. 閉鎖型スプリンクラーヘッド（ ）℃										
一斉開放弁		種別	1. 減圧開	2. 加圧開	検定番号		選択弁	設置場所		設置個数	個			
連結送水管	製造者名		○○○製作所							認定番号	○—○○○			
	階別	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	R階	階	合計	
	単口・双口の別	単口	単口	単口	単口	単口	単口	単口	単口	双口	単口		単口	双口
	設置数	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	個	9個	1個
	床面からの高さ	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.7 m	0.6 m	m		
	放水器具格納箱	設置数	個	個	個	個	個	個	個	個	1個	個	個	1個
		格納品	ホース	20 m×	4 本	最高使用圧力（	1.2	）MPA	筒先	2 本	ノズル	種別（噴霧切替）	口径	23 mm
送水口		1. 双口 2. 単口	設置数	1 個	地盤面からの高さ	0.7 m	設計送水圧力	1.2 MPA						
配管	専用・兼用の別		1. 専用 2. （ ）と兼用					充水方法	1. 補助高架水槽 2. その他（ ）					
	主管の口径	125 mm	送水口から最高位までの高さ	32 m	送水口から最遠ヘッドまでの配管長									
	材質	1. JIS G 3442 2. JIS G 3452 3. JIS G 3454 4. その他（ ）												
	管継手	1. JIS B 2210 2. JIS B 2220 3. JIS B 2301 4. JIS B 2311 5. JIS 23 2 6. その他（評定品）												
	弁類の材質	1. JIS G 5101 2. JIS G 5501 3. JIS G 5502 4. JIS G 5702 5. JIS 51 1 6. その他（評定品）												
加圧送水装置	設置場所		階	室	水源又は中間水槽	1. 専用 2. （ ）と兼用	有効水量	m ³						
	起動装置		1. 制御盤での直接操作 2. 防災センター等での遠隔操作 3. その他（ ）									連絡装置の種類		
	仕様	ポンプ及び電動機	製造者名	（ポンプ）				（電動機）				認定番号		
定格吐出量			ℓ/min		定格全揚程	m		電圧	V	出力	kW			
電源	種別	1. 非常電源専用受電設備 2. 自家発電設備 3. 燃料電池設備 4. 蓄電池設備					容量	（ ）KVA・（ ）AH						
	専用・兼用の別		1. 専用 2. （ ）と兼用				認定番号							
配線	電線種類又は認定番号		（非常電源回路）				（操作回路等）							
	工事方法		（非常電源回路）				（操作回路等）							
その他	<p>・埋設配管の腐食防止措置を講ずる。</p> <p>・露出配管の凍結防止措置を講ずる。</p>													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択枝のある欄は、当該事項を○印で囲むこと。